

科目番号	52034	分類	地域母子保健学	履修者	高度実践助産コース	学年	1	
科目名	地域母子保健学演習 (Practice for Maternal and Child Health in the Community)						1	30
							配当セスター 後期	
担当者	○渡邊香 他7名		区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	1	時間数
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連		
【概要】 妊産婦および乳幼児の個人・家族・集団への個別支援の実践方法を学ぶ。妊産婦や乳幼児に対するアセスメントを通して、家庭訪問や保健指導、健康相談における支援の方法や技術を具体的に学ぶ。 【目標】 1. 妊産婦および乳幼児の個人・家族・集団への個別支援が実践できる。 2. 産前・産後訪問、新生児訪問など家庭訪問と実際の保健指導の内容、健康相談の計画を立案・作成できる。 3. 訪問活動の事例を通して実践を行い、評価できる。 4. 地域母子支援に必要な、地区診断を行い、支援計画を立案し評価できる。						○	1. 自律して自然分娩の支援ができる能力	
						○	2. 院内・院外助産システムを担うことができる能力	
						○	3. 女性の生涯にわたる健康を支援できる能力	
						○	4. 周産期の救急時に対応できる能力	
						○	5. 他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力	
							6. 研究・開発能力	
							7. 倫理的意思決定能力	
授 業 計 画								
回	内 容						担当教員	
第1回	科目のガイダンス 地域母子保健学演習の概要						渡邊 他7名	
第2回	地域母子保健の現状と課題の分析 母子保健統計資料（国・都道府県・区市町村）							
第3・4・ 5・6回	地域母子保健の現状と課題の分析（GW）							
第7回	地域母子保健の現状と課題の分析 発表							
第8回	地域母子保健における地域ニーズの把握と施策化							
第9回	地域母子保健における支援の実際（妊娠期、新生児期等）							
第10・11・ 12・13回	地域母子保健を支える訪問事業 新生児訪問計画立案と指導案の作成（GW）							
第14回	新生児訪問の実践・演習（GW）							
第15回	地域母子支援における看護職の役割と未来（ディスカッション）							
事前・事後 学習	事前学習：各回の必携および参考図書で該当する部分を読んでおくこと。 事後学習：配布資料を復習する。レポートを課す。 事前事後学習には30～60分程度で出来る課題を課す。							
評価の方法	課題70% プレゼンテーション・ディスカッション30%							
参考図書 ・資料等	◎助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 我部山キヨ子他 第6版 医学書院 ・母子保健の主なる統計 令和6年度版 ・助産師のための産後ケアガイド2023 日本助産師会出版 参考図書は適宜紹介する。 ◎は授業の必携図書のため購入を必要とする。							
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 フィードバックは適宜行う。							